

1. 瀬戸内圏研究センターと庵治マリンステーションの組織体制

瀬戸内圏研究センターは、香川大学研究推進機構の一組織として、平成21年3月1日に設立された。また、同年4月1日には農学部附属浅海域環境実験実習施設を庵治マリンステーション (Aji Marine Station) として改組し、同センター内に設置した。本研究センターの組織体制を以下に示す。

また、瀬戸内圏に関する情報のデータベース化を図るために香川大学瀬戸内圏研究センター情報拠点機能強化推進事業 (香川県ふるさと雇用再生特別基金事業) によるデータ・マネジメント・ステーションが平成21年7月21日から始動した。

瀬戸内圏研究センター

ゼネラルマネージャー	本城凡夫
(特任教授)	
センター長	多田邦尚
特任教授	原 量宏
教授	一見和彦
コーディネーター	上野哲夫
客員教授	竹内康人

庵治マリンステーション

ステーション長	多田邦尚 (農学部併任)
技術専門職員 (船長)	岸本浩二

データ・マネジメント・ステーション

技術補佐員	築田裕子
-------	------

庵治マリンステーション の紹介

本施設は四国最北端である庵治半島の先端に位置します。周辺には砂浜や岩場が多く見られ、自然環境に恵まれています。調査船「カラヌスⅢ」(19t)及び小型作業船「ノープリウスⅡ」(1.1t)が配備され、香川大学の海に関する教育研究の前線基地となっています。調査船で海洋観測を行い、施設で分析・観察を行っています。研究用機器として、各種海洋観測機器および全窒素・リンなどの栄養塩自動分析装置が備えられ、海の富栄養化、貧酸素水塊、養殖漁場環境、あるいは干潟域の環境等の研究を行っています。また、農学部の海洋環境実習、全学共通科目の授業にも活用されています。

瀬戸内圏研究センターへの改組に伴って、平成22年3月までに、マリンステーションの施設をリニューアルしました。

(庵治マリンステーションの位置地図)



庵治マリンステーション全景



調査艇「カラヌスⅢ」

